

立川競輪場施設改修基本計画

平成24年2月

立 川 市

目 次

施設改修基本計画策定の経緯と考え方

1 策定の経緯	1
2 計画の考え方	2
敷地、施設の概要	3

施設、設備の現状と課題

1 入場者数の推移と施設の規模	5
2 施設、設備の老朽化	6
3 ユニバーサルデザイン・環境配慮の不足	8

改修のコンセプト

1 市民に愛される競輪場	9
2 安定的な事業収益を確保できる競輪場	9
3 防災機能を強化した競輪場	10

改修の目的と内容

1 新たなお客様の来場促進	11
2 お客様への快適な環境の提供	12
3 運営の効率化	12
4 施設、設備の老朽化への対応	13
5 競走安全性の確保	15

各施設の改修内容	16
----------	----

改修後イメージ図	17
----------	----

施設の課題と対策について	19
--------------	----

改修スケジュール	22
----------	----

他競技場調査	23
--------	----

資料1 立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会名簿	30
----------------------------	----

資料2 立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会設置要綱	31
------------------------------	----

資料3 検討の経過	32
-----------	----

資料4 平成22年度施設調査委託の提案	33
---------------------	----

資料5 ワーキンググループ提案	34
-----------------	----

資料6 自治会及び市ホームページアンケート調査について	40
-----------------------------	----

資料7 立川競輪場施設改修計画（案）のパブリックコメント	45
------------------------------	----

施設改修基本計画策定の経緯と考え方

1 策定の経緯

立川競輪場は昭和 26 年の開設以来、いち早く施設整備を進めたことにより売上が向上し、市財政に多大な貢献をしてきた。

しかしながら、近年、入場者数の減少が続き、施設規模が過大となっておりとともに施設、設備の老朽化が進んでいる。

これまでの入場者数減少には投票所の廃止などで対応してきたが、このことによりお客様の動線が分散され、清掃、警備等の業務が非効率化しているなどの問題が生じている。また、設備についても不具合が発生した都度対応しているが、部品の調達が難しいものも多く、計画的な整備が必要となっている。

このように施設、設備について抜本的な改善が必要となっていることから、当面早期に対応が必要な修繕等は順次進めながら、以下の調査結果や指摘を踏まえて今後 5 年間の施設改修について検討を進めてきた。

（１）立川競輪場施設調査委託（平成 22 年度実施）の調査結果

現在使用している施設は既に 30 年以上経過しており、建物、設備機器等の老朽化が顕著になっている。この中でも投票本館、中央スタンド、第 2 スタンド、第 4 スタンドにおいて、施設、設備機器の状況を調査し、問題点の抽出と分析を行うために平成 22 年度に「立川競輪場施設調査委託」を実施した。

その結果については以下のとおりである。

施設については、目視による外観点検を行い、早急に改修が必要な箇所の抽出を行った。ただし、耐震診断は実施していないため、継続して使用する建物については、耐震診断調査の実施とその後の対応が必要である。

設備機器に関しては、経年劣化により競輪開催に支障がでる恐れがある箇所がいくつか見られている。安全に競輪開催を行うためにも早急に設備改修計画を立てる必要がある。また、設備が旧式であるため、エネルギー効率が悪く、維持管理に多くの費用が費やされている。設備機器を最新の機器へ更新することも同時に検討を行う必要がある。

また、お客様の動線調査においては、場内全体に分散してしまうお客様を一箇所に集めることができる施設をつくることで開催経費を削減できるとの提案もされている。

（２）立川市公共施設白書に於ける課題

立川市公共施設白書では競輪場の今後の課題として、次の 2 点が示されている。

現在使用していない棟もあることから、今後の施設利用について早急に検討し、耐震を行っていない棟を利用する場合には、耐震診断を実施し、診断結果に応じた対策を取る必要がある。また、その他の棟についても競輪場施設改修基本計画に位置付けて、計画的に維持管理する必要がある。その際、総じてバリアフリー化や環境対策の対応が必要である。

入場者数・車券発売額は、近年減少傾向にあり、現在入場者数は 1 日あたり 4,500 人程度である。従って、今後は入場者数にあわせたコンパクトな施設への転換も視野に入れ、ライフサイクルコストの低減を図るための体系的な手法を検討する必要がある。

（３）お客様及び市民の意見

立川競輪場には、お客様より様々な意見を頂いている。その中で施設面ではトイレの洋式化や段差解消などの要望が多い。また、過去にお客様に対してアンケートを実施しており、場内で快適に過ごせるための施設として、子どもが遊べる託児施設や分煙化した観覧施設、女性専用の観覧施設が欲しいなどの回答を得ている。従って、今後はこうしたお客様の意見を取り入れた施設改修計画を策定していく必要がある。

市民からは場内施設の一般利用に関する要望が寄せられている。既に、いくつかの施設を開放して多くの利用を得ているが、更なる市民利用の拡充が求められている。

２ 計画の考え方

本計画は、上記の経緯を踏まえて、平成 24 年度から平成 28 年度の間に実施する予定である改修・修繕の方向性を示したものであり、今後具体的な基本設計及び実施設計等を行うための諸条件を示すものである。

敷地、施設の概要

施設名：立川競輪場

所在地：東京都立川市曙町 3 丁目 32 番 5 号

開設年：昭和 26 年

管理施行者：立川市

総収容人員：30,600 名（消防法による）

スタンド収容人員：9,416 名（消防法による）

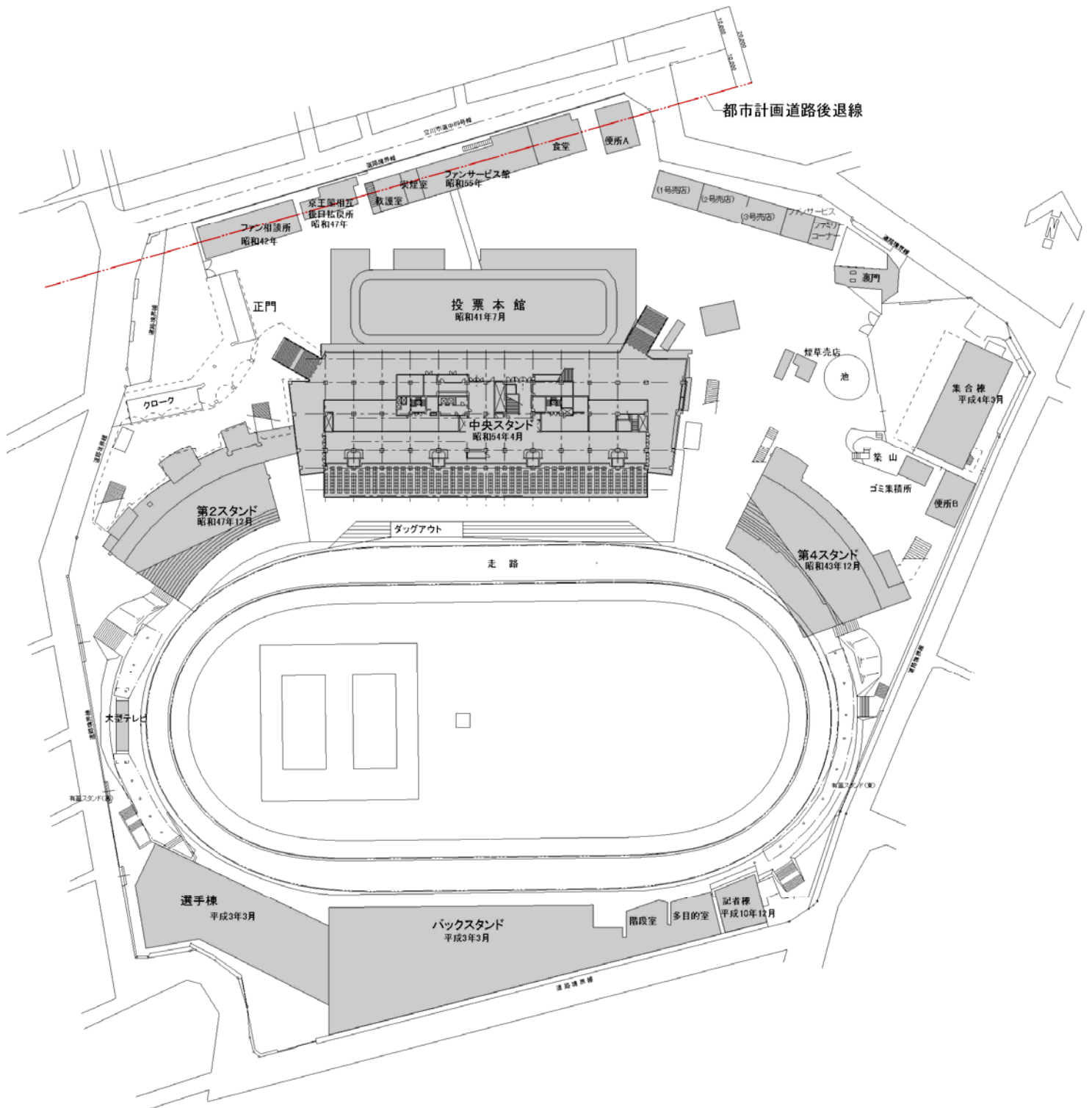
敷地面積：44,502 m²

用途地域：商業地域

主要施設一覧

名 称	延床面積 (m ²)	建築年	構造
中央スタンド棟	15,625.9	昭和 54 年	鉄筋コンクリート
第 2 スタンド棟	4,188.7	昭和 47 年	鉄筋コンクリート
第 4 スタンド棟	3,145.0	昭和 43 年	鉄筋コンクリート
投票本館	2,322.8	昭和 41 年	鉄筋コンクリート
バックスタンド・選手管理棟	9,018.1	平成 3 年	鉄 骨
集合棟	1,438.6	平成 4 年	鉄 骨
裏門	217.6	昭和 42 年	鉄 骨
自衛警備棟	400.0	昭和 42 年	鉄 骨
正門・入場券売り場	205.0	昭和 47 年	鉄筋コンクリート
記者室棟	463.9	平成 10 年	鉄 骨

現況配置図



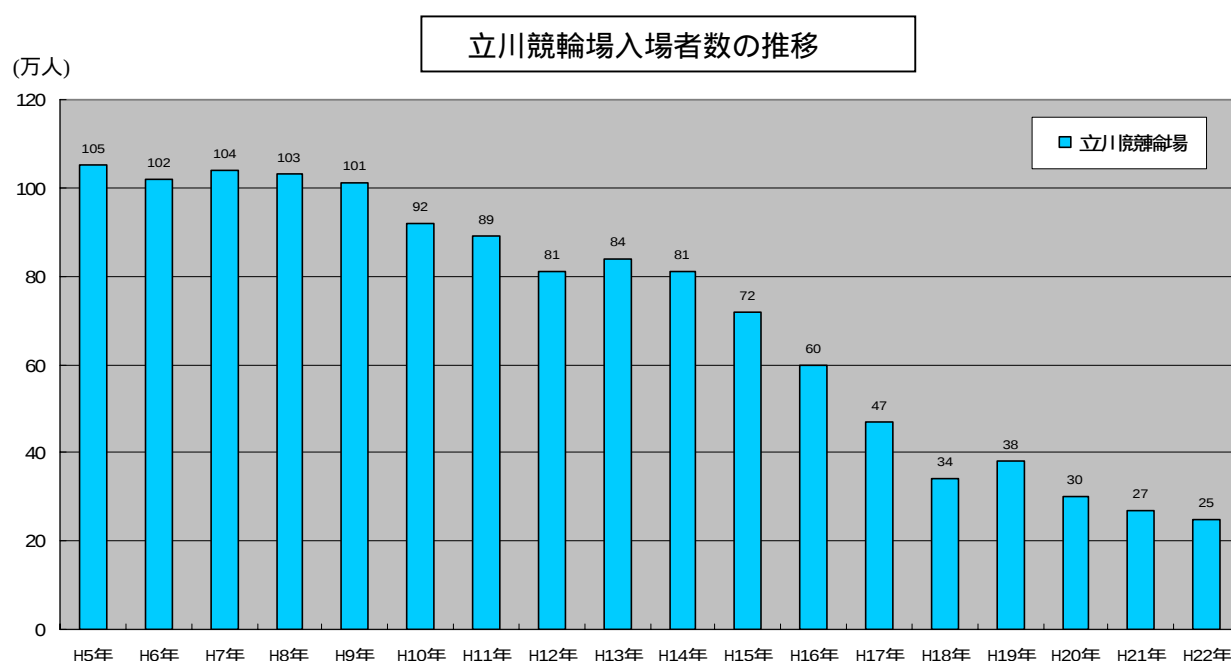
施設、設備の現状と課題

1 入場者数の推移と施設の規模

立川市営立川競輪の本場入場者数の推移をみると、バブル経済の効果もあり平成4年度までは80万人台を確保してきた。

しかし、バブル経済後の経済環境やレジャーの多様化の影響のほか、電話投票や場外など発売形態の多様化とも相まって、平成5年度をピークに減少し、平成17年度以降は40万人を下回り、平成22年度には25万人となっている。

下記グラフの入場者は、東京都市収益事業組合（H.18年度まで）を加えた人数であるため、上記記述の人数より多くなっている。



* 東京都市収益事業組合

三鷹市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市の8市で構成し、競輪事業を運営していた。昭和46年度から平成18年度まで立川競輪場で毎年5回開催を行っていた。

平成18年度をもって立川競輪場から撤退した。

現在、立川競輪場の消防定員は30,600人である。最近の普通開催の一日あたり入場者数は4,000～5,000人程度であり、現在では入場者数に対する施設の規模が過大となっている。

立川競輪場は年間の競輪競技の締めくくりとも言える競輪グランプリの開催地である。競輪グランプリは大変人気があり、入場者数が最も多くなるレースでもあるが、平成22年に行われた際の入場者数は16,000人程度であった。従って、特別競輪や記念競輪開催時を考慮しても、最大収容人員が15,000～20,000人規模程度であれば競輪開催が可能と言える。今後、適正規模であるコンパクトな施設を検討することが課題となる。

2 施設、設備の老朽化

立川競輪場の投票本館は昭和 41 年に、中央スタンドは昭和 54 年に、バックスタンドは平成 3 年に建設され、全体的に老朽化し、施設の経年劣化による維持管理上の問題も頻繁に起きている。

平成 22 年度に実施した施設調査委託ではこうした施設に対しての劣化状況を報告書にまとめている。

施設の老朽化に伴い、十分な耐震機能が保たれていないことが懸念される。昭和 56 年の「新耐震設計法」の制定前後で要求水準が大きく変化しているため、昭和 56 年以前に建設した建物に対しては、耐震診断結果による措置も念頭に入れておかなければならない。

平成 22 年度に実施した施設調査委託では投票本館、中央スタンド、第 2 スタンド、第 4 スタンドの 4 棟の耐震性について目視調査を実施しており、大きな問題は指摘されていない。しかしながら、何れも「新耐震設計法」の制定以前に設計された建築物であるため、継続して使用する場合は耐震診断を実施し、診断結果に基づく対応を行う必要がある。なお、中央スタンドは現在耐震診断を実施している。

また、走路についても施設と同様に経年劣化が進行しているため、表面に部分的なひび割れが生じている状況である。このままでは競走安全性の確保が出来なくなる可能性があり、早期に全面改修を実施する必要がある。

設備の現状についても施設調査委託報告書にまとめられている。設備も施設と同様に全体的な経年劣化が見られ、このままの状態で開催を続けた場合、開催に支障をきたす可能性が高いと判断されている箇所も存在する。早急な措置を要する設備は優先的に改修する必要がある。

下記には施設調査委託によって早期改修が必要であると判断された箇所を記載する。

電気設備

項 目	所 見
受変電	大半の変圧器が 30 年以上経過している。
中央監視設備	耐用年数が経過している。
幹線・動力設備	配管、盤類ともに耐用年数が経過している。
電灯コンセント設備	屋外配線の絶縁に劣化がある。
弱電設備	電気時計の耐用年数が過ぎている。
防災設備	誘導灯、拡声放送、避雷針が老朽化している。

衛生設備

項 目	所 見
受水槽	外観で劣化が見られる。
高架水槽	外観で劣化が見られる。
消火補助水槽	外観劣化は少ないが、内部劣化が懸念される。
揚水ポンプ	経年劣化している。
排水ポンプ類	経年劣化している。
消化栓箱	腐食が見られる。

空調設備

項 目	所 見
冷温水発生機	故障が頻繁に発生している。
空冷ヒートポンプ	故障が多く、古い設備のため交換部品がないものもある。
冷却塔	機内経年劣化状態である。
エアハンドリングユニット	機内経年劣化状態である。
ファンコイルユニット	形式が古く、交換部品がない。
全熱交換機	内部エレメントの劣化が懸念される。
送風機	モーターが経年劣化している。
冷温水ポンプ	経年劣化により錆が多く発生している。
冷却水ポンプ	経年劣化により錆が多く発生している。

配管設備

所 見
全体的に経年劣化している。

3 ユニバーサルデザイン・環境配慮の不足

立川競輪場開設当時は、バリアフリー、ユニバーサルデザインの考え方が浸透していなかったこともあり、すべての人が同じように競輪を楽しめる施設とはなっていない。立川競輪場トイレの洋式化率は、35%程度と低く、お客様よりトイレの洋式化の要望が多く寄せられている。

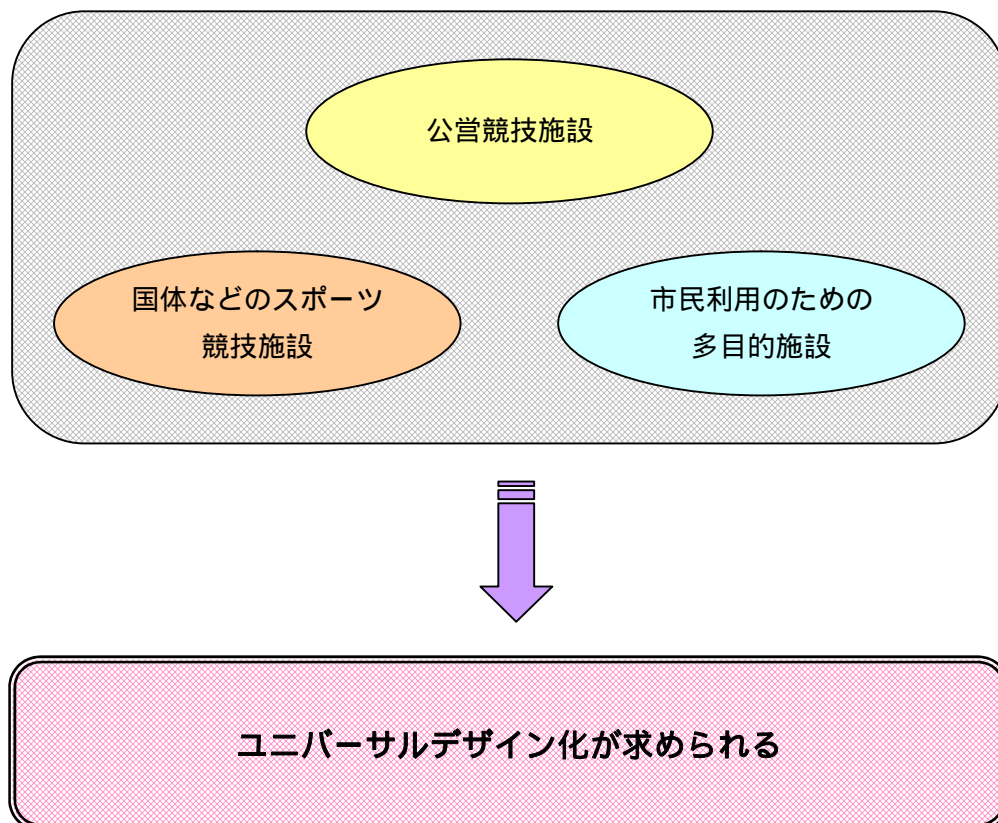
また、お客様の高齢化により、場内での転倒事故などが増えている。段差の解消、エレベータの設置などの要望も寄せられている。

今後、競輪場を公営競技場のみと考えるのではなく、市民の一般施設利用及びアマチュア自転車競技の大会会場、練習場としての利用を拡大していくためにも、ユニバーサルデザインを取り入れる必要がある。

また、設備に関しては前述のとおり旧式のものが多いため、空調設備では、そもそも省エネ性能が最新式のものと比べて劣っている上に、経年劣化によりさらにエネルギー効率が低下しているなど全般的に環境配慮が不足している。

対策としては、設備を最新式に更新するほか、中央スタンド観覧席ガラス面に断熱シートを張り断熱効果を上げることや、空調や照明を各フロアで調整できる個別システムを導入することなどについても検討が必要である。

競輪場の多目的利用



改修のコンセプト

本計画を検討する上での前提には、立川競輪事業の将来像検討委員会の検討テーマである「持続可能な競輪事業」がある。これを踏まえ、施設改修のコンセプトを次の３点とする。

立川競輪場施設改修のコンセプト

1 市民に愛される競輪場

2 安定的な事業収益を確保できる競輪場

3 防災機能を強化した競輪場

1 市民に愛される競輪場

入場者数が減少していく中、競輪場を公営競技だけの施設ではなく、様々な利用価値を生み出す施設に転換することで、競輪場の存在価値を高めていく必要がある。競輪場のこれまでのイメージを払拭し、地域に密着した施設として市民はもとより、来街者や競輪場に来られる全ての方に対してより身近な存在になっていくことが、今後の運営を大きく左右すると考えられる。

本計画策定にあたり、市民の一般利用に関して、周辺自治会からご意見をいただくとともに、市ホームページでアンケートを行った。（結果は資料６のとおりである。）

本計画に基づく施設改修を行う際には、施設を解体した跡地に芝生観覧席や遊具等を設置した小公園をつくる。また、投票本館を建替える際には、イベントや会議等に使用できる施設とし、非開催日の市民利用に配慮する。今回実施した調査結果を反映させるとともに、今後も市民ニーズの把握に努め、市民に愛される競輪場を目指す。

2 安定的な事業収益を確保できる競輪場

競輪事業を行うためには、安定的な事業収益を確保して一般会計への繰出しを行うことにより、市財政に貢献する必要がある。そのためには、施設改修により売上向上と運営経費削減を図ることが求められる。

売上向上を図るためには、まず、お客様に快適な環境を提供することにより、減少が続く入場者数及び購入単価を改善することが考えられる。また、持続可能な競輪事業とするために新しいお客様を開拓する方策として、これまでのイメージを払拭する環境づくりや、わかりやすさの提供が必要である。

運営経費削減を図るためには、現在の入場者数にあわせた場内施設のコンパクト化と効率的な設備への更新が考えられる。

3 防災機能を強化した競輪場

立川市では平成 19 年 9 月に「立川市地域防災計画」を策定している。この中で競輪場は、協定市町村からの応援職員の宿舎、屋内施設として位置付けられるとともに、自衛隊災害派遣部隊の受入れ拠点候補地とされている。

東日本大震災発生後には、一部の競輪場では選手宿舎を避難所として開放したり、救援物資の受け入れ場所とするなど、競輪場施設が有効に活用されていた。

「立川市地域防災計画」は、東日本大震災を受けて見直しが検討されている。見直しの際には、東日本大震災時の他の競輪場の対応や、立川市で課題となっている備蓄品の管理の在り方を踏まえながら、遊休施設の活用など競輪場の防災機能強化について検討する必要がある。

また、防災機能の強化にあたっては、早急に耐震対応を行う必要がある。

改修の目的と内容

1 新たなお客様の来場促進

- 中央スタンド4階を改修し、家族連れ、若者、女性の来場を促進する。
- 正門を改修し、明るく入りやすい雰囲気づくりをする。

競輪場に対するイメージを変える。【市民に愛される競輪場】

入場者数及び売上の減少に歯止めをかける。【安定的な収益の確保】

現状の立川競輪場へのお客様は古くからの競輪ファンである高齢者層が中心となっている。年々、入場者数が減少している状況の中、売上向上を図るためには当然ながら新たなお客様の開拓が必要となってくる。

現在の立川競輪場では、家族連れ、若者、女性を対象とした施設や設備がほとんどない状況であり、新たなお客様に1日競輪を楽しみながら場内で快適に過ごしていただくためには、清潔で明るい雰囲気の空間が必要になる。

新たなお客様に対応した空間（フロアー）にはグループやカップルなどに限定した座席を用意することで、家族連れ、若者、女性という層が集まり、今までのイメージと違った明るい雰囲気の空間を作り出すことができる。あわせてこの空間に初心者ガイダンスやカフェのような飲食店を配置すればより効果的である。

新たな空間の場所としては、現在閉鎖しているバックスタンドの活用が考えられるが、後述する運営の効率化の面で課題があり、現段階では中央スタンドの4階観覧席の改修が最適と考える。改修にあたっては、家族連れや女性を対象とすることから、分煙化が必須の条件といえる。そのためには、中央スタンド3階と4階は分離されていないため、現在喫煙が可能である3階席に喫煙室を設置して喫煙場所を制限すること等を検討しなければならない。

また、新たなお客様に来ていただくためには、競輪場のイメージを改善する必要がある。そのためには、まず、入口である正門の改修が挙げられる。現在の正門はデザイン性を考慮したものではない。採光がなく、暗い雰囲気を感じさせるため現在の正門のままでは、競輪場のイメージは今ままでと変わらない。明るく、デザインを考慮した正門へ転換していくことが新たなお客様に来場していただくための手段として必要である。正門を改修する際には、位置変更などを含めて多面的に検討する必要がある。



現在の立川競輪場の正門

2 お客様への快適な環境の提供

- サテライト型の施設を新設し、お客様に快適な環境を提供する。
- 新施設はユニバーサルデザイン対応とし、市民利用スペースを設ける。
非開催日に市民が安心して利用できる。【市民に愛される競輪場】
入場者数及び売上の減少に歯止めをかける。【安定的な収益の確保】

現在、無料で空調完備の施設として第1ファンサービス館と中央ファンサービス館があるが、収容人員が少ないために多くのお客様が投票本館周辺と走路前に滞留している状況である。

お客様に快適な環境で競輪を楽しんでいただく施設として、投票所、飲食ができるスペースなどの機能を兼ね備えた空調完備の施設を新設する必要がある。施設の新設により、入場者増や滞在時間の延長が期待され、売上の向上につながると考える。新たな施設の場所としては、正門から近く、走路への行き来が容易であることから、現在の第2スタンド、投票本館の場所が考えられる。

お客様の動線の単純化や投票本館が第2スタンドより古い建物であることから、投票本館を取り壊した跡地が最適と考える。また、平成22年度実施の調査委託報告での提案では、投票本館を取り壊して新たな施設を建てる方が費用負担も少なくなると共に、委託業者による評価が高くなっている。

施設新設にあたっては、ユニバーサルデザインの対応が必要となる。特に競輪場内のトイレは和式が多いので、洋式トイレや「だれでもトイレ」の設置が求められる。

また、新たな施設には、非開催日に市民へ一般開放できるスペースが求められる。集会や会議、イベント等に使えるスペースを持った競輪場が多いことから、これらの事例と市民ニーズを参考としながら検討する必要がある。

3 運営の効率化

- 第4スタンドを撤去し、小公園的な観覧スペースとする。
- 場内施設を集約し、運営経費の削減を図る。
非開催日に子供を連れて利用できる。【市民に愛される競輪場】
運営経費が削減できる【安定的な収益の確保】

施設を集約してお客様の分散を防ぐことは、管理面での負担が軽減されるとともに、警備、清掃等の経費が節減できる。現状は閉鎖している施設も多いが、特に制限を行っていないため、警備、清掃が広範囲となっている。後述する耐震安全性の問題とも関係するが、今後も入場者数の大幅な増加は見込めないため、耐震対応が必要な施設である第2スタンド、第4スタンドについては、継続して使用するか否かを決定する必要がある。継続使用しない場合には耐震対応を行わずに取り壊

し、他の用途に転換することで経費削減が図れる。

現状の入場者数を考えると客席数としては両スタンドを撤去しても問題ないが、両スタンドを撤去した場合、特別競輪等開催時には投票所の数が不足することから、どちらか一方を残して耐震対応を行う必要がある。

第2スタンドは投票所としての機能が残されており、平成22年の競輪グランプリ開催時には投票所として活用したが、第4スタンドには投票所機能は残されていない。そのため第4スタンドを継続して利用する場合は、機能回復のために費用が必要となる。また、第2スタンドは正門からも近く、連絡通路によって中央スタンドとの出入りが出来るなど、お客様の利便性においても第4スタンドより優れていると考えられる。

これらから第4スタンドを取り壊し、第2スタンドを継続使用することとする。第4スタンドは取り壊し後、敷地を他の用途に転用する。転用方法としては、新たなお客様を対象とした小児用遊具を備えた小公園的な観覧スペースを設けることが考えられる。公園機能を持てば、非開催日においても周辺住民の方たちも気軽に利用できるため、地域に貢献できる施設として最適である。

第2スタンドについては、耐震対応とともに改修を行い、観覧機能を強化することにより、今まで以上に競輪の魅力をお客様に伝えることができるスタンドとする必要がある。現状では、3階観覧席部分がせり出して薄暗く、圧迫感があり、また、座席が設けられていないことなどからお客様の利用が少なくなっている。競輪競技の迫力を生で感じていただくためにも、第2スタンドの観覧施設を改修する必要がある。改修後は清掃、警備等の範囲を見直し、運営経費削減を図る。

4 施設、設備の老朽化への対応

- 第2スタンドと中央スタンドの耐震診断を行い、安全性を向上する。
- 優先順位を付けて設備を更新する。
- 更新にあたっては環境面に配慮する。

競輪事業が安全に運営できる。【安定的な収益の確保】

運営経費が削減できる。【安定的な収益の確保】

施設の安全性が向上する。【防災機能の強化】

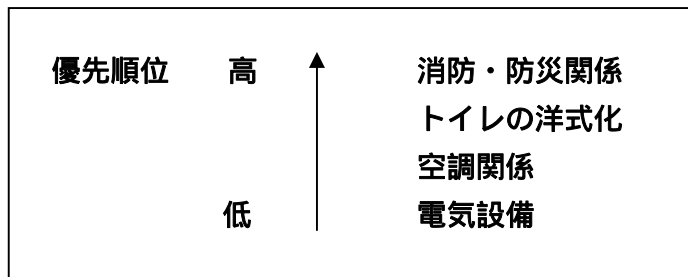
競輪場の主な施設は平成3年建築のバックスタンドを除き、中央スタンドが昭和54年、第2スタンドが昭和47年、第4スタンドが昭和43年、投票本館が昭和41年の建築であり、建築後30年以上経過しているため、老朽化が進んでいるとともに、昭和56年の建築基準法施行令改正による「新耐震基準」前の建築であることから耐震安全性の確保が必要となる。

前述のとおり投票本館及び第4スタンドについては、他の用途への転用に伴って取り壊すことから、耐震診断の対象から除外する。従って、本計画において耐震診断及び診断結果に伴う補強工事等の対応が必要な施設は第2スタンドと中央スタンド（現在診断中）となる。

施設と同様に設備についてもほとんどが更新を行っておらず、不具合が多く生じている。全ての

設備を最新のものに更新するのが理想であるが、その場合には、多額の費用を費やすことになる。

従って、設備の老朽化対策については、優先順位を付けて競輪の開催を行う上で必要となる箇所から順次更新を行う。優先順位としては以下の通りである。更新にあたっては環境面への配慮が必要となる。省エネ性能が高い設備を採用することで、運営経費削減も図れる。



消防設備

- | | |
|---------|----------------|
| a. 避雷針 | 取替え及び接地試験 |
| b. 拡声放送 | 拡声機スピーカー取替え |
| c. 誘導灯 | 電球及び機器取替え |
| d. 消火栓 | 放水試験によりポンプ取替え等 |

衛生・空調設備

- | | |
|---------|-----------------------------|
| a. 便器 | 和式便器を洋式に変更 |
| b. 便所 | だれでもトイレの設置 |
| c. 空調設備 | 空調設備全体の見直しにより、更新の優先順位を決定する。 |

給水設備

- | | |
|----------|-----|
| a. 受水槽 | 取替え |
| b. 高架水槽 | 取替え |
| c. 揚水ポンプ | 取替え |

電気設備

- | | |
|------------|---------------|
| a. 幹線・動力設備 | 幹線・動力検査及び取替え |
| b. 受変電設備 | キュービクル点検及び取替え |
| c. 中央監視設備 | 点検及び取替え |

5 競走安全性の確保

- 走路を全面改修し、競走安全性を確保する。
競輪事業が安全に運営できる。【安定的な収益の確保】
市民利用ができる。【市民に愛される競輪場】

走路については、前述のとおり、走路表面にひび割れが生じているなどの老朽化が進んでいる。走路状態が悪化すれば競走の安全性が確保できなくなり、場合によっては開催に影響を及ぼす可能性もあるため、早急な改修が必要とされている。多くの競輪場が 20 年以内で全面改修を行っており、前回の大規模改修が平成 3 年であることを考えると、走路全面改修の適正な時期にきていると判断できる。また、平成 25 年 3 月には特別競輪である日本選手権競輪(G)が予定されており、さらに平成 25 年 9 月末から 10 月初めには、第 63 回国民体育大会の自転車競技が予定されていることから、改修の時期については平成 24 年度とする。

走路改修に伴って、外周フェンスについては、現状と同じものを使用するが、安全性を考慮する。あわせて走路内の改修も行う。走路内は競走に必要な設備を配置することや非開催日でも競輪選手や自転車競技部の学生の練習場となっていることから難しい面もあるが、小運動が出来るスペースや、一般利用も可能なスペースを設けるなど市民利用についても検討する必要がある。

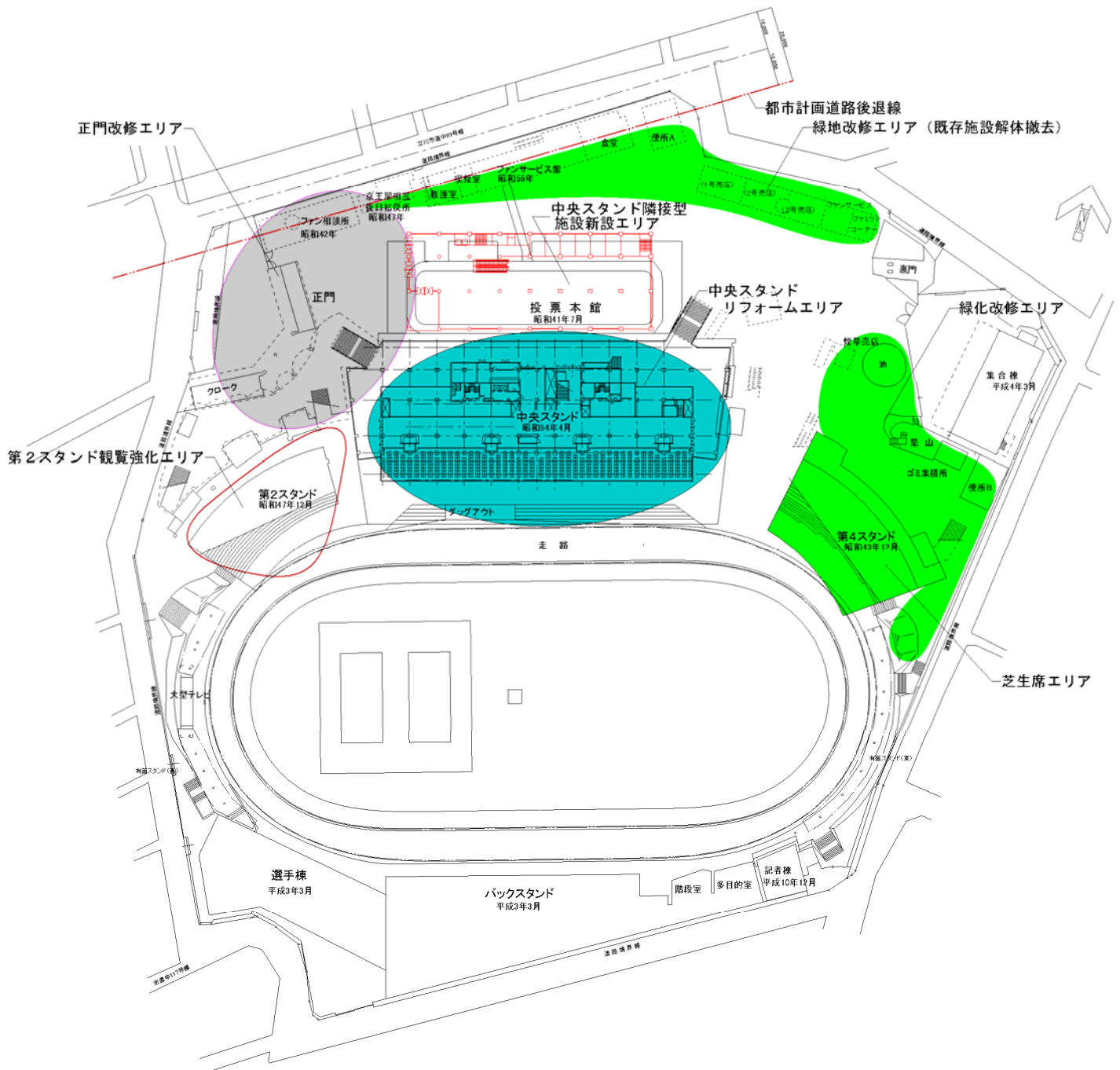
各施設の改修内容

施設名	改修内容
投票本館	○ 現在の施設は取り壊す。 ○ 跡地には投票所、食堂、事務所などを有した施設を建築する。 ○ 非開催日の市民利用に配慮する。 ○ ユニバーサルデザイン、環境面に配慮する。 ・ 概算改修金額 16.7億円
中央スタンド	○ 耐震安全性を確保する(平成23年度耐震診断実施中)。 ○ 4階フロアを改修し、グループ席、カップル席などを設ける。 ○ 喫煙室を設け、環境を改善する。 ○ トイレの洋式化、空調設備の更新をする。 ○ 2階、3階フロアは改修しないが、モニターなどの設備は更新する。 ・ 概算改修金額(消防設備等改修含む) 14.5億円
第2スタンド	○ 耐震安全性を確保する。 ○ 観覧機能を強化するために改修する。 ・ 概算改修金額 1.4億円
第4スタンド	○ 現在の施設は取り壊す。 ○ 跡地は小公園的な観覧スペースとする。 ・ 概算改修金額 1.3億円
正門・裏門	○ 明るく、入りやすいイメージのものに改修する。 ・ 概算改修金額 2.2億円
走路	○ 全面改修し、競走安全性を確保する。 ○ 市民利用に配慮しながら走路内も改修する。 ・ 概算改修金額 3.5億円
その他	○ 現在の警備棟、売店などは取り壊す。 ○ バックスタンドは改修しない。 ・ 概算改修金額 0.4億円
* 概算費用合計 約40億円	

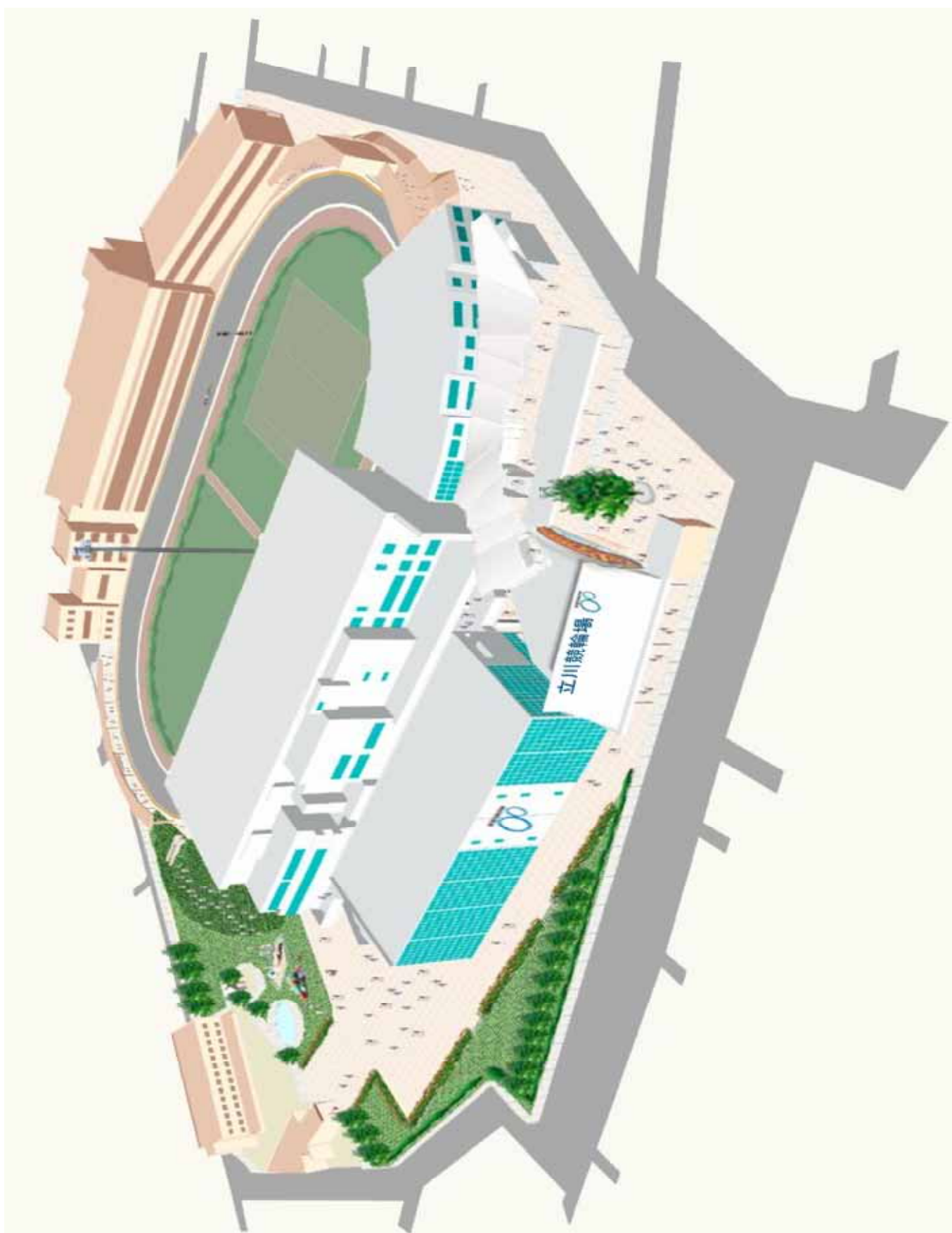
*上記改修内容については、今後具体的な設計等を行う段階で変更する場合もある。

改修後イメージ図

配置図



鳥観図



施設の課題と対策について

本計画を検討するにあたり現状と対策について、アンケート結果やワーキンググループ提案を参考とした。これらをまとめたものは、以下のとおりである。

立川競輪場の現状と対策

改修コンセプト	現在の状態	市民の要望・意見	ワーキンググループ提案	具体策	他競輪場参考例
市民に愛される競輪場	- 市民利用ができる施設もあるが、さらなる拡大を求められている。 - 誰もが利用しやすい施設となっていない。 - 周囲と隔てられ、閉鎖的である。 - 正門が圧迫感があり、暗いため入りづらい雰囲気がある。	【自治会・市HPアンケート】 - あったらよい施設としては、イベントに利用できる施設、防災機能を持った施設が多い。 - その他要望のあった施設 - 放送設備のみのホール - フィットサル、テニス、水泳などのできる体育施設 - 夜間利用ができる施設 - 会議室 - レストラン、スーバー、ホームセンター等 - 家族と一緒に利用できる施設 - 雨天でもイベントができる施設 - 高齢者が体操や運動ができる施設 - 学校体育に使える施設 - 高い塀で囲まれ、地域との融合を選けた施設と感じる。 - 競輪事業を止めて児童遊園・公園にしてほしい。	- 一般の自転車利用者対象に保管庫、シャワーのある更衣室、メンテナンスや部品販売のできる店舗、サイクルカフェなどを設置する。 - 自転車競技普及用の展示室を設置する。 - 市民開放する会議室等をレースが見られる場所に設置する。 - 外壁や入口を小中学生や美術学校生にデザインしてもらおうなど、明るくてオーブンなものとする。 - 場外に向けたビジョンを設置する。 - 走路中央に巨大な自転車モニュメントを設置する。 - フィットサル、BMX、スケートボードのできる場所を作る。 - スタジアム化する。 - 競輪と関係ないイベントができるイベントスペースを作る。 - 連絡所、福祉会館など市の施設を設置する。 - 外から入れる飲食店を併設する。 - 内外装をアート化する。 - 場内をバリアフリー化する。	- 施設改修に際しては、市民意見等を参考として市民が一般利用できるスペースを設ける。 - トイレの洋式化、段差の解消などを進め、誰もが利用しやすい施設とする。 - 入場門や場内を改修し、明るく入りやすいイメージに変えていく。 - 施設内の一部を緑地、公園化し、非開催日も開放する。	⇒ ⑦ いわき平 ⇒ ⑩ 松戸・岸和田 ⇒ ① 京王閣・平塚ほか ⇒ ③ 函館・松戸

立川競輪場の現状と対策

改修コンセプト	現在の状態	市民の要望・意見	ワーキンググループ提案	具体策	他競輪場参考例
安定的な事業収益を確保できる競輪場	・入場者数が減少を続けている。 ・来場者が高齢化している。 ・購買単価が減少を続けている。 ・施設及び設備が老朽化している。 ・入場者数に対して施設が過大になっている。	【自治会・市HPアンケート】 ・女性が出来やすい環境整備が必要。 ・ドライブスルーで車券を買えるようにする。 ・若い人たち、ファミリー層が入れるような清潔感が必要。	新たなお客様の新規促進 ・女性、カップル、家族などを対象とした席を設置する。 ・フラットシート・ボックスシート・リクライニング椅子などを設置する。 ・レース観戦が出来る場所でイベントなどを行う。 ・発売所を走路側に設置する。 ・一部を芝生として公園化する。 ・かわいいダストボックスを配置する。 ・記録に残るような大型映像を設置し、迫力ある映像を流す。 ・コース下に透明の地下通路を作る。(走路のスケルトン化) ・他の公営競技の勢も買えるようにする。 ・麻雀荘、屋内テーマパーク、ゲームセンター、トレーニングルーム、スバ、散髪屋などを併設する。 ・選手や競輪場のある地域の特産品を紹介するスペースを作る。 ・道の駅化する。 ・おしゃれな喫茶店を設置する。 ・若者向けの外食店を誘致する。	・新たなお客様が利用するような席を設け、分煙化など環境整備も行う。 ・新たなお客様が集まるスペースには初心者コーナーやカフェなどを配置する。 ・遊具を備え、子どもが遊べる小公園的なスペースを設ける。	⇒ ②いわき平・京王閣 ⇒ ⑤名古屋・平塚 ⇒ ③函館・松戸ほか
					⇒ ⑤平塚

立川競輪場の現状と対策

改修コンセプト	現在の状態	市民の要望・意見	ワーキンググループ提案	具体策	他競輪場参考例
安定的な事業収益を確保できる競輪場			お客様への快適な環境の提供 ・モニターを大型にする。 ・レースを観ながら食事が出来る施設を作る。 ・ドーム化。 ・完全分煙とし、喫煙所を設ける。 ・第4スタンドをフラット化する。	・投票所、食堂などの機能を有し、冷暖房完備の施設を新設する。 ・分煙化を進める。 ・第2、第4スタンドのいずれかは観戦機能を強化するため、一部座席を設けるなどの改修を行う。 ・第2、第4スタンドのいずれかは取り壊し、芝生化するなど周囲を緑地ゾーンとする。	⇒ ⑤平塚 ⇒ ⑧京王閣・いわき平ほか ⇒ ④京都向日町・西武園 ⇒ ⑨名古屋
			その他		
			・走路内に広告スペースを作る。 ・ソーラーパネルを設置する。	・現状の入場人員にあわせて施設をコンパクト化する。 ・競走安全性を確保するために走路を全面改修する。あわせて走路内の市民利用を検討する。	
防災機能を強化した競輪場	・耐震対応を実施していない施設がある。 ・更新が必要な防災・消防設備がある。	【自治会・市HPアンケート】 ・災害時の資材や物資の保管場所 ・災害時の避難場所		・「立川市地域防災計画」見直しの際に、競輪場の防災機能強化について検討する。 ・今後とも利用する施設の耐震対応、防災・消防設備の更新を行う。	

改修スケジュール

施設改修年次計画						百万円
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開催関係		国体リハーサル大会 日本選手権	国体・グランプリ・記念 (予定)	記念	記念	グランプリ・記念 (予定)
走路等全面改修工事		走路・バンク内 350.0				
第4スタンド解体工事		解体・照明設置・芝生観覧席工 事設計委託 35	解体・照明設置・芝生観覧席工事 94.0			11月初旬～12月末 緑化・遊具設置 29.0
投票本館解体及び 新築工事設計委託		38.0 基本設計委託	37.0 実施設計委託			
プレハブ設置工事 事務所引越し				80.0 設置工事3ヶ月・引越し1ヶ月	本館建替え完了までプレハブ事務所設置	
投票本館解体工事				4.0 26.0 引越し・調査3ヶ月・工事3ヶ月		
投票本館新築工事 事務所引越し				130.0 工事監理委託	900.0 工事費	450.0 3.5 GPまでに竣工・引越し
中央スタンド改修工 事	中央スタンド耐震診断実施	(上)耐震工事設計委託(下)2階特別観 覧席机上モニター撤去及び設置工事 15.0 7.5	(上)耐震工事(3ヶ月程度) (下)観客席リニューアル 400.0 300.0			
中央スタンド設備器 機改修工事				64.0・258.0・413.0 消防、防災・電気・空調関係		
第2スタンド耐震診断 及び改修工事		耐震診断調査委託 5.0	7.0 6.0 新築工事設計委託・改修工事設計委託	63.0 56.0 耐震工事・施設整備工事		
正門・裏門改修工事				15.0 205.0 設計委託 工事期間6ヶ月程度		
警備棟・食堂棟解体						警備棟・食堂棟解体 アスベスト撤去(記念後) 40.0
概算合計		419.0	844.0	1,314.0	900.0	522.5

●——● 工事を示す

●.....● 設計等を示す

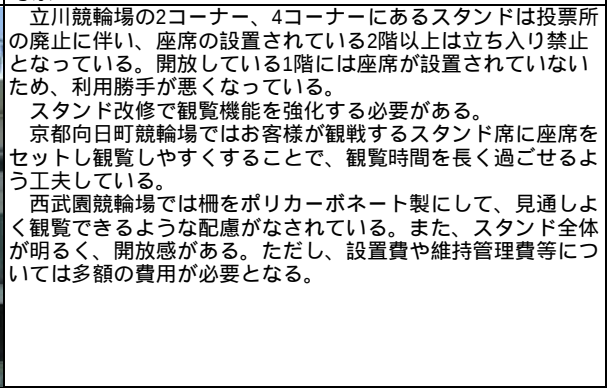
他競技場調査

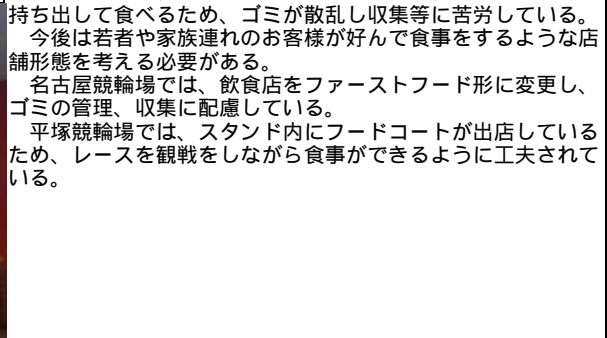
入場門について

立川競輪場	考察
	現在の立川競輪場の正門は、デザイン性が考慮されたものではなく、平成4年度の改修当時のままとっている。正門においては他の競輪場でも様々な工夫がされており、各競輪場の共通点として競輪場施設の建物からの圧迫感がない点があげられる。正門の周辺には高い階層の建物がないため、正門全体に採光があり、明るい雰囲気が感じ取れる。 立川競輪場の場合、正門正面に中央スタンド及び第2スタンドがあり、競輪場の奥行きがないため、開放感が感じ取れない。建物が正門に近接しているため採光もなく、建物自体もデザイン性があるものではないため、明るい雰囲気が感じ取れない。 立川競輪場は敷地が狭いため、全体構造における正門の位置は致し方ない点ではあるが、幅広い層を集客する場合には、採光、デザインを考慮し、明るい雰囲気に転換する必要がある。
京王閣競輪場 正 門	松戸競輪場 正 門
	
いわき市平競輪場 正 門	静岡競輪場 正 門
	
平塚競輪場 正 門	岸和田競輪場 正 門
	

座席について	
立川競輪場	考察
	立川競輪場の特別観覧席の座席は、2階部分を平成11年に改修したが、3階4階は設置した当時のまとなっており硬く高級感がない。座席の改良及びデザイン性を見直す必要がある。 京王閣競輪場では、特別観覧席として500円を払えばお客様にゆったりと座って頂けるような座席を用意している。利用して頂いたお客様に優越感を感じていただくための工夫の一つと言える。 また、いわき平競輪場では座席に工夫されており、デザイン化された座席を配置することで従来の競輪場のイメージを払拭し、若者や女性に受け入れられるような工夫をしている。
京王閣競輪場 ゆったりとした座席	いわき平競輪場 デザイン化された座席
	

公園広場について	
立川競輪場	考察
	現在の立川競輪場では、写真にあるような池があるだけで、家族連れやお子さんを対象とした施設がない。ファミリールームはあるが、あまり利用されていないのが現状である。 非開催日の市民利用も含め検討することが必要である。 函館競輪場においては、公園広場として遊具を設置しており、子供を対象としたミニバンクと称する自転車乗り場なども用意している。 松戸競輪場には、砂場内に遊具を設置している。
函館競輪場 公園広場	松戸競輪場 公園広場
	

スタンド席について	
立川競輪場	考察 立川競輪場の2コーナー、4コーナーにあるスタンドは投票所の廃止に伴い、座席の設置されている2階以上は立ち入り禁止となっている。開放している1階には座席が設置されていないため、利用勝手が悪くなっている。 スタンド改修で観覧機能を強化する必要がある。 京都向日町競輪場ではお客様が観戦するスタンド席に座席をセットし観覧しやすくすることで、観覧時間を長く過ごせるよう工夫している。 西武園競輪場では柵をポリカーボネート製にして、見通しよく観覧できるような配慮がなされている。また、スタンド全体が明るく、開放感がある。ただし、設置費や維持管理費等については多額の費用が必要となる。
京都向日町競輪場 座席の強化されたスタンド席	西武園競輪場 明るく開放感があるスタンド席
	
	

飲食について	
名古屋競輪場 フードコート	考察 立川競輪場は、昔ながらのメニューが多く、お客様は場内に持ち出して食べるため、ゴミが散乱し収集等に苦労している。 今後は若者や家族連れのお客様が好んで食事をするような店舗形態を考える必要がある。 名古屋競輪場では、飲食店をファーストフード形に変更し、ゴミの管理、収集に配慮している。 平塚競輪場では、スタンド内にフードコートが outlet しているため、レースを観戦しながら食事できるように工夫されている。
平塚競輪場 スタンド内に設置されたフードコート	平塚競輪場 フードコートからの眺め
	
	

バンク内の緑地化及び装飾	
立川競輪場	考察
	立川競輪場のバンク内には、テニスコートがあるが現在は使用されていない。 松戸競輪場や平塚競輪場ではバンク内の装飾に水を使用しており、バンクの雰囲気明るく感じられた。また、平塚競輪場においては、バンク内にDJブースを用意し、レースの合間には最新の音楽をかけている。湘南バンクと称するだけあり活気のある雰囲気を作り出している。
松戸競輪場 バンク内の装飾	平塚競輪場 バンク内の装飾
	

市民利用について	
岸和田競輪場 BMXコース	考察
	立川競輪場でも市民利用のために複数の施設を開放しているが、さらなる市民利用の拡大が求められている。施設改修の際には市民が利用できるスペースを設ける必要がある。 いわき平競輪場ではバンク内の有効利用として、一般市民が利用できる空間を用意している。主には、展示会やイベントに利用しているとのことであった。また、中央スタンド正面にある施設では競輪観戦はもちろんのこと、非開催時には集会場として利用できる他、巨大スクリーンを備えているため、会議やシアターとして一般市民が利用することができる。 岸和田競輪場では、バンク横にBMXの施設があり、非開催日には、多くの方が利用している。
いわき平競輪場 バンク内	いわき平競輪場 市民利用できる施設
	

分煙化について	
京王閣競輪場 喫煙ルーム（特別観覧席） 	考察 立川競輪場では特別観覧席等において一部分煙化を行っているが、環境の整備はまだ不十分である。今後は各施設において分煙化を進める必要がある。 分煙化については各競輪場においてすでに対応済みであった。 松戸競輪場は、ロイヤル席においても分煙化している。 いわき平競輪場では、喫煙ルームをガラス張りにし、パンクを望める位置に設置するなどの工夫がされている。
いわき平競輪場 喫煙ルーム（中央スタンド） 	松戸競輪場 喫煙ルーム（ロイヤル席） 

グループシート、ファミリーシートについて	
いわき平競輪場 グループ席 	考察 立川競輪場では特別観覧席、ロイヤルルームがあるが、カップルやグループ、ファミリーが利用できるようなシートの区別化はされていない。幅広い層のお客様に來場していただく手段として、多様なシートの設置が必要となる。 いわき平競輪場においては、特別観覧席としてグループシートが用意されている。ここは6名で1室を使用できる個室となっており、施設内に計4室設置されている。利用者としては、家族連れや友人同士で利用する人が多いとのことであった。食事や車券購入もできるため、他のお客様と交わることなく競輪を楽しむことができるようになっている。
いわき平競輪場 柵席 	名古屋競輪場 芝生席 

トイレについて	
静岡競輪場 小便器手すり設置 	考察 立川競輪場ではお客様から洋式トイレの設置を希望する意見が多く寄せられている。施設改修にあたっては、洋式トイレやだれでもトイレを設置する必要がある。 各競輪場の調査でも洋式化が進められていた。競輪場によっては温水洗浄便座をつけているところもあり、お客様への配慮がなされている。また、一般トイレの小便器や大便器にも手すりの設置がされ、高齢者等の利用についても配慮している。だれでもトイレについても各競輪場に設置されている。
松戸競輪場 洋式トイレ（温水洗浄便座） 	岸和田競輪場 だれでもトイレ 

サインについて	
いわき平競輪場 フローアサイン 	考察 立川競輪場では、大きな案内板が4箇所設置されているが、いずれも分かりにくい場所に設置されている。また、現状の施設と名称が合っていないものもあり、早急に改善する必要がある。 各競輪場ではサインに工夫を凝らしている。屋外サイン、屋内サインのデザインを合わせ統一性があり、カラフルである。現在地や行き先も分かりやすく表示している。
松戸競輪場 現在位置・行先表示サイン 	京王閣競輪場 行先サイン 

サテライト型について	
サテライト水戸 スクリーン 	考察 立川競輪場は本場開催を主体に建てられた施設であり、場外開催ではお客様の分散化などにより非効率である。場内にサテライト型の施設を建てることで、必要のない施設を使用しなくなれば効率の良い運営が可能である。非開催日には一般利用も可能な構造にすることも検討する必要がある。 サテライト型施設の参考として、サテライト水戸の写真を載せている。複数競輪場の車券が一箇所で購入可能なので来場者も多い。施設もコンパクトなので、運営管理面においても優れている。駐車場の屋根にはソーラーパネルが設置されており省エネや環境にも配慮している。
サテライト水戸 会場 	サテライト水戸 フードコート 
サテライト水戸 喫煙室 	サテライト水戸 特別指定席 
サテライト水戸 現在の発電電力表示 	サテライト水戸 ソーラーパネル 

【資料 1】立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会名簿

委員名簿

	役 職	氏 名
委 員 長	公営競技事業部長	岡部 利和
副委員長	財務部長	杉田 平吉
委 員	総合政策部企画政策課長	渡辺 晶彦
	行政管理部施設課長	古川 俊幸
	財務部財政課長	田中 良明
	公営競技事業部事業課長	小林 滋
	社団法人 全国競輪施行者協議会 業務部情報施設課長	藤代 智之
	社団法人 日本競輪選手会東京支部 立川競輪場所属選手	村越 賢治
	財団法人 日本自転車競技会 東日本地区本部 関東競技部 第 1 競技実施チーム副長	亀田 均（前任） 越智 敬之（後任）
	立川競輪場周辺対策協議会副会長	久保 貴
事 務 局	公営競技事業部事業課施設係長	高橋 博
	公営競技事業部事業課庶務係長	福家 賢三

【資料２】立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会設置要綱

（設置）

第１条 立川競輪事業の将来像検討の結果を踏まえ、施設改修計画の策定を検討するために、立川競輪場施設改修基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所管事項）

第２条 委員会は、次の各号に掲げる事項を検討する。

- （１） 立川競輪場の施設改修基本計画策定に関すること。
- （２） 入場者数に合致した施設整備に関すること。
- （３） 施設整備の年度計画及び資金計画に関すること。
- （４） その他必要な事項に関すること。

（組織）

第３条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

２ 委員長は、公営競技事業部長を、副委員長は、財務部長を充てる。

３ 委員は、総合政策部企画政策課長、行政管理部施設課長、財務部財政課長及び公営競技事業部事業課長を充てるほか、財団法人全国競輪施行者協議会業務部職員、日本競輪選手会東京支部役員、日本自転車競技会東日本地区本部関東競技部

第１競技実施チーム職員及び立川競輪周辺対策協議会役員を委嘱する。

（職務）

第４条 委員長は、検討委員会を代表し、会務を総理する。

２ 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

３ 委員は、委員長の命を受けて委員会の事務に従事する。

（会議）

第５条 委員会は、委員長が必要と認めたときに招集する。

（意見聴取）

第６条 委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席又は資料の提出を求めることができる。

（ワーキンググループの設置）

第７条 委員会は、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

２ ワーキンググループは、委員長の指名により、関係各課の職員をもって組織する。

３ ワーキンググループは、委員会が定めた事項の検討を終えたときは、速やかに委員会に検討結果を報告しなければならない。

（庶務）

第８条 委員会の庶務は、公営競技事業部事業課において処理する。

（委任）

第９条 この要綱の施行について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 23 年 5 月 2 日から施行する。

【資料 3】検討の経過

平成 23 年	5 月	2 日	立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会設置
	7 月	16 日	第 1 回ワーキンググループ全体会議
	8 月	13 日	第 2 回ワーキンググループ全体会議
		19 日	第 1 回立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会
	9 月	2 日	第 2 回立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会
		14 日	第 3 回立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会
	10 月	12 日	第 4 回立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会
		20 日	第 5 回立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会
平成 24 年	2 月	8 日	第 6 回立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会

【資料4】平成22年度施設調査委託の提案

	1 案・中央スタンド隣接型	2 案・中央スタンド隣接型 (緩衝空間付)	3 案・第4スタンド解体立替型	4 案・第2スタンド解体建替型	5 案・既設施設リフォーム型
1. 建設コスト	○ 1,584,000 △	△ 1,991,000 ◎	◎ 2,056,000 △	◎ 2,493,000 ◎	◎ 554,600 ◎
2. 工事期間	○ 15ヶ月 開催しながら工事が可能	○ 15ヶ月	◎ 16ヶ月 工期は、他案と比べて短い	○ 16ヶ月 競輪開催中の解体 施工の困難性から工期が長期化 する	○ 8ヶ月 解体工事が無いので全体工期を 短縮できる
3. 移転回数	2 引越しは2回する必要がある。	2 引越しは2回する必要がある。	1 引越しは1回ですむ	2 引越しは1回ですむ	2 引越しは2回する必要がある。
4. 回遊性	◎ 来場者の動線が効率的になる	○ 来場者の動線が効率的である	△ 中央スタンドとの回遊性に問題 がある	○ 中央スタンドとの一体性に欠け る	○ 中央スタンドとの一体性に欠け る
5. 一体性	◎ ・中央スタンド下の空間と一体 利用できる ・投票所、レストラン、休憩 コーナーなど集中的に配置 できる	◎ ・中央スタンドと一体的に利 用できる ・中央スタンドとの間に大屋 根の緩衝空間が有るので、 多くの来場者を余裕を持っ て一体的に収容できる	△ 中央スタンドとの一体性に欠け る	◎ 中央スタンドとの一体性に欠け る	◎ 中央スタンドと一体的に使用で きる
6. アクセス	○	○	△ 正門から遠いので来場者のアク セス上の問題がある	○ 正門の傍なので、来場者のアク セス性が高い	○ 正門の傍なので、来場者のアク セス性が高い
7. 周辺へのシン ボル性	○	○	△ 施設が奥まっているのでシンボ ル性に欠ける	◎ 正門の傍なので、シンボル性の 高い施設となる	△ 正門の傍なので、シンボル性の 高い施設となる
8. 管理運営の便 利性	◎ ・コンパクトな空間である ・施設の管理運営の観点から 効率的 ・空調する面積が限定的なの でエネルギーコストが効率 的である	△ ・投票所、レストラン、休 憩コーナーなど、集中的 に配置するので施設の管 理運営の観点から効率的 である	○ ・施設が分散するので、管理 運営で非効率である	◎ ・施設が分散するので管理 運営の効率性に欠ける	◎ ・コンパクトな施設である ・管理運営上効率が高い
9. その他	施工区域を確保しやすい			・正面入口の傍なので施工時の安全 性に慎重な配慮が必要 ・バックスタンドへのアクセスが 出来なくなる (別入口の用意が 必要)	・工事中仮設の事務所、券売機の 設置が必要 ・投票機器を別の建物に移設する 必要がある

※5案の既設建物リフォーム型は耐震診断をした上でないとい構造体を使用できるか不明、現段階ではリスクが大きい。

【資料5】ワーキンググループ提案

「若手職員による検討委員会ワーキンググループの提案」

「立川競輪事業の将来像検討委員会」「立川競輪場施設改修基本計画策定検討委員会」を行うにあたり、お客様の固定化、高齢化が進む中、新たなお客様に來場していただくには今何が必要かを柔軟な発想で様々な施策を提案するために、立川市の若手職員を中心とするメンバーでワーキンググループを設置し、売上浮揚策についての議論を行った。

- ワーキンググループメンバー 18 名
- ワーキンググループに先立ち、競輪事業の果たして来た役割や現在の経営状況並びに施設について事前勉強会を行った。
- 全体会議は計 2 回実施した。1 回目は立川競輪場本場開催を視察し、施設やお客様、従事員等の現状を認識し、2 回目はメンバーを 3 グループに分け、各グループで検討した売上浮揚策について提案した。

全体会議日程 第 1 回目 平成 23 年 7 月 16 日（土）10：00～12：00

第 2 回目 平成 23 年 8 月 13 日（土）10：00～12：00

- 全体会議第 2 回目の提案に向けて、各グループとも 3～4 回の会議を重ね、提案された内容はユニークな発想でこれまでにないアイデアが多数含まれていた。

広報紙による競輪場の紹介、女性限定のイベントや選手と触れ合えるイベント等すぐに実現可能なものから、サイクルパラダイス計画等、実現には時間がかかるものまで広範囲な提案が含まれている。

特にどのグループも共通して、施設、設備の改修などにより現在のイメージを変えることを重視している。

ワーキンググループ名簿

1グループ		2グループ		3グループ	
氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
小林 直岐	秘書広報課	牛山 亮太	情報推進課	市川 啓	情報推進課
小室 正広	国体推進室	三浦 友佳	契約課	津崎 政人	課税課
神田 宙哲	課税課	一宮 友美	産業振興課	小山裕二郎	協働推進課
本阿弥 拓	保育課	田村 諭士	環境対策課	小林賢二郎	子ども育成課
天野 皓介	道路課	岡部 真紀	下水道管理課	一ノ瀬達郎	道路課
林 良樹	会計課	黒島 秀和	教育総務課	佐藤 博文	会計課

ワーキンググループ提案（集計）

■施設に関する項目

	項 目
ワーキンググループ	1 海外のトップクラスの選手を招待し、レースを開催。
	2 冠協賛レースの実施。
	3 フィルムコミッションと連携し、競輪場をロケ地やアニメの舞台などに積極的に誘致する。
	4 広報たちかわのページを利用して、競輪場を紹介する。
	5 自転車ツーリングの基地として空き施設を活用する。
	6 初心者向けHPを立ち上げる。
	7 初心者競輪教室を実施する。
	8 初心者専用スペースを確保する。
	9 大型映像設備を活用して、近隣住民向けにイベントを実施する。
	10 自転車安全教室や乗り方教室を実施する。
	11 周辺対策用の集会室等をレースが観られる場所に設置する。
	12 市民を招待し、特別席で解説付きの観戦をする。
	13 お笑い芸人やミュージシャンなどに無料ないし格安で場所を提供する。
	14 明るいイメージのエントランス、のぼり、女性コンパニオン、着ぐるみキャラクターを配置する。
	15 子供を遊ばせておけるキッズコーナーを設置する。
	16 女性限定のイベントを実施する。
	17 外周の壁を地元小学生の絵で塗り替える。
	18 建物の壁面を立美の生徒や地元や石田倉庫等のアーティストにデザインしてもらう。
	19 一般の人がトラックを走るレースを開催する。
	20 ハズレ車券を景品等と交換できる。
	21 有料席を今よりも細分化する。
	22 初心者向けリーフレットを配布する。
	23 場内モニターを大型化する。
	24 チャンネル構成を再構築する。
	25 レースの迫力等がよりお客様に伝わるようレース放送を工夫する。
	26 選手の挨拶を取り入れる。
	27 一般の人が購入したいと思うようなユニホームに改善する。
	28 ファンサービス、イベントブースをレースが観られる場所に設置する。
	29 休日開催等には生演奏のファンファーレを使う。
	30 サッカーや野球の様なレース前の大型ビジョンで選手を紹介する。
	31 発売所をバンクにより近くでレース観戦を楽しめる場所、第2、第4 スタンド、中央ファンサービス館、1A、メイン及びバックスタンド2F に設置する。本館は発売所ではなく、ファンサービス館等にする。
	32 平場にグループ用の席を設置する。
	33 バックスタンド食堂跡地及びメインスタンド4F の一部をレース観戦しながら飲食できるカフェに改修する。
	34 他の公営競技の券も発売可能にする。

	項 目
グループ	1 入退口や外壁のデザインをオープンな雰囲気にする。
	2 外観をカラフルに塗装し、施設全体に採光を取り入れる。
	3 第4スタンドをフラット化する。
	4 バリアフリー化する。
	5 施設全体をドーム化する。
	6 suica を施設全体（車券購入・払戻、飲食）で利用できるようにする。
	7 施設内の一部を芝生化し、ピクニックや木陰にベンチなど、くつろげる場所を作る。
	8 完全分煙し、喫煙所を設ける。
	9 ディズニーランドのようなかわいいダストボックスをたくさん設置する。
	10 地元小中学生の部活動発表会や中高生によるファンファーレ演奏を実施する。
	11 ストリートミュージシャンやダンサーにステージとして場所を提供する。
	12 チャリンピックを開催する（親子で三輪車競走、子どもたちの一輪車競走など）。
	13 従業員のコスチュームを統一する（制服貸与・名札統一）。
	14 若い女性のスタッフを増やす（かわいい制服）。
	15 徹底的な美化促進のために、清掃員を10倍に増員する。
	16 現在市立小学校3年生で実施されている、社会科見学の見学コースに取り入れる。
	17 社会人向けの競輪場見学ツアーを開催する。
	18 ギネス級の超大型ビジョンで迫力の映像を流す（速度やラップタイムも）。
	19 幅広く競輪を知ってもらう為に、場外に向けたビジョンを設置する。
	20 迫力ある映像を提供するため、選手ヘルメットにカメラ、バンク走路面にカメラとマイクを設置する。
	21 コースの下から観覧できるようにスケルトン化した地下通路を作る。
	22 バンク内に広告物を貼り出せるスペースを作る。
	23 バンク中央に10m×20mの巨大な自転車モニュメントを設置する。
	24 競技進行に合わせたBGM・映像（選手目線のカメラなど）を流す。
	25 始球式ならぬ始走式を流行りの人に（なでしこジャパンなど）行ってもらう。
	26 街頭スクリーンでレースや選手を紹介する。
	27 立川の選手で○○隊のようなものを作って知名度をあげる。
	28 選手による地域貢献活動を行う。
	29 選手と直接触れあうイベントや交流会を実施する。
	30 サンサンロード、昭和記念公園、多摩リバー50kmでの走行見学イベントを実施する。
	31 パチンコ店を併設する。
	32 競馬・競艇・オートレース等の投票券も購入できるようにする。
	33 麻雀荘を併設する。
	34 ROUND1のような、屋内テーマパーク・ゲームセンター等を併設する。
	35 バンク中央にフットサル場・BMX・スケートボードパークを作る。
	36 パブリックビューイングやライブなど各イベントに対応できるスタジアム機能を装備する。
	37 イベントスペースをつくる（競輪とは関係ないイベントもできるような）。
	38 競輪選手・他の競輪場やその地域の特産を紹介するスペースを作る。
	39 道の駅（アンテナショップ、観光案内所、お土産店を併設）を併設する。
	40 トレーニングジムを作る。
	41 スパを設置する。
	42 散髪屋を併設する。
	43 市の窓口（連絡所）を設置する。
	44 高齢者のふれあいサロンとして福祉会館を併設し、競輪場を高齢者のたまり場にする。
	45 地元商店街やシネマシティなどとの地域一体型企画を実施する。
	46 入場マイレージ・ポイントカードによる地元商店・企業でのサービス還元を実施する。
	47 他競輪場とコラボしたスタンプラリー、記念品などの景品を配る。

	項 目
48	はずれ車券を割引サービスなどに利用できるようにする。
49	かっこいいオリジナルグッズを販売する。
50	無料開放し、夏祭りや縁日の開催（選手が出店を開くなど）を行う。
51	T-1 グランプリ（立川競輪漫画大賞 賞金1,000 万）開催など、漫画界とコラボし、話題性や知名度をあげる。
52	サテライト間でのつながりを利用し、B-1 グランプリを開催する。
53	イメージキャラをつくる（ゆるキャラなど）。
54	フィルムコミッションの積極的な誘致をする。
55	オタク市場を取り入れる（EVA のF1 マシンなど）。
56	おしゃれな喫茶店を設置。
57	競輪場の外から入れる飲食店を併設する。
58	若者向けの飲食チェーン店を誘致する（マックや31など）。
59	ペアシート・カップルシート・グループシート・ファミリーシートを設置する。
60	キッズ・ママコーナーを充実させる。
61	子どもが遊べるミニパークを設置する。
62	浅草キッドや吉澤ひとみなど、自転車好きタレントをイメージキャラにする。
63	競輪場シャトルバスを目立つようにペイントする。
64	駅からのサインを充実させる（コンコース全面広告など）。
65	都内観光ルートに入れる（旅行会社と協力）。
66	Facebook を利用し、立川競輪場の知名度をあげる。
67	情報誌、フリーペーパー、ガイドブックを利用して新たな客層へ情報発信する。
68	F Mたちかわで、選手がパーソナリティとして出演する。
69	カップル、ファミリー層への情報発信。
70	小学校から高校まで出張授業を実施し、子供を通じて理解を浸透させる。
71	ナイター競輪を実施する。
72	競輪事業評価委員会を常設する（ふじようちえんを手掛けた佐藤可士和や、いわずとしれたコピーライター糸井重里などを招く）。
73	事業改善を専門とする職員を配置し、事業改善策を確実に実施できる体制を整える。
74	競輪ファン、サイクリングファンの意見を吸い上げる機会を定期的に設ける。
75	景品付きアンケートを実施する。
76	入場料をアップし、収入を増加させる。

グループ

	項	目
グループ	1	ゲートの無料化を実施する。
	2	特定層に絞った席を増設する。
	3	保育スペースの充実、保育士を常駐させる。
	4	ソーラーパネルを設置する。
	5	ナイター競輪を実施する。
	6	イメージ改善のため、外壁をスケルトン化する。
	7	バンクをスケルトン化し、本来見ることでできない視点から観覧できるようにする。
	8	イメージ改善のため、内装、外装をアート化する。
	9	専門誌を求めやすくするため安価にする。
	10	大型映像装置の設置及び有効活用する（選手のプロフィールなどを紹介）。
	11	女性スタッフをコンシェルジュ化する。
	12	年間パスの交付し、固定客を作る。
	13	選手でアイドルグループを作る。
	14	近隣商店街との連携し、商店街の活性化を図る。
	15	外国人をターゲットに競輪を楽しんでもらうように宣伝する。
	16	Facebookを活用する（クーポンなどを付与）。
	17	選手の頭にカメラを設置し、モニターに映し出すことで臨場感を与える。
	18	公園を設置する（緑化ゾーン）。
	19	B M Xパークを設置する（自転車ファン層が利用）。
	20	サイクルショップを設置する（ここでしか買えないなどの専門性が高いものを販売する）。
	21	多摩小、道の駅、昭和記念公園等のマクロなエリアの中間地点としての位置づけを与え、サイクリングロードとして、将来的な自転車の街立川の実現のベースとする。
	22	サイクルカフェを設置する。

自治会アンケート報告書

立川市自治会連合支部のうち競輪場周辺5自治会支部の各自治会(52自治会)宛にアンケート調査を実施しました。実施期間は、9月22日(木)から10月6日(木)までの期間実施しました。回答は52件依頼のうち41件の回答がありました。

設 問

「競輪場にあったら良いと思う施設」

* 1～7については複数選んでいただいても結構です。

- 1 イベントに利用できる施設
- 2 児童遊園や公園など子どもと利用できる施設
- 3 サイクリングをする人の休憩所
- 4 外から入れるコンビニ、レストランなどの店舗
- 5 トレーニングジムなどのスポーツ施設
- 6 研修、講演会などができる施設
- 7 災害時の避難所などの防災機能を持った施設
- 8 その他(1～7に当てはまらない施設について、自由にご記入ください。)

自治会アンケート調査集計表

自治会名	1	2	3	4	5	6	7
曙一東自治会		○				○	○
曙町1丁目西町会							
曙一南自治会	○		○			○	
曙町二丁目東和会	○	○	○	○	○	○	○
曙町二丁目西町会	○						○
曙二南町会	○	○		×		○	○
曙二北町会	○			○		○	○
曙三東町会	○			○		○	○
曙町三丁目西和会	○	○			○	○	
曙町三丁目仲和会				○	○		○
曙町三丁目アパート自治会							
高松町松友会	○				○	○	○
高松町一丁目協力会	○				○	○	
高松町東友会						○	
高松町二丁目仲和会	○	○				○	○
高松町南自治会							
高松町高昇会							
高松町三丁目松栄会							
高松会自治会	○				○		○
共栄会	○				○		○
睦会自治会	○				○	○	
第二団地自治会							
日の出自治会	○			○		○	○
弥生会	○	○					○
南砂自治会	○			○	○		○
南栄会自治会		○					○
南部自治会		○		○	○		○
都営栄町5丁目アパート自治会	○	○		○	○	○	○
江の島道東住宅自治会					○		○
東栄会自治会							
中砂自治会						○	○
新栄自治会	○	○	○	○	○		○
江の島自治会		○			○		
都栄自治会							○
錦東会	○			○		○	○
錦西協力会	○	○			○		○
錦東和会	○	○			○	○	○
錦二の中町会	○						○
錦和会	○					○	
錦みよし会	○				○		
錦町五丁目親和会	○	○			○	○	○
錦六会							
羽衣会	○					○	○
羽衣町1丁目第2アパート自治会							
羽衣本町会							
東羽衣会			○		○		○
羽衣町二丁目北町会							
羽衣町住宅管理組合自治会							
羽衣町三丁目自治会							
羽衣町みのわ会				○		○	
コープ西国立自治会	○					○	○
羽衣第3アパート自治会		○			○		○
計	27	15	4	11	20	22	30

その他意見集計

設問8 その他意見には、下記のような意見がありました。

放送設備のみのホールがほしい
フットサル・テニスコートなど
夜間利用ができる施設・複数の会議室
地域に溶け込む施設にしてほしい
開かれた施設にしてほしい
レストラン・スーパー・ホームセンター等
災害時の資材や物資の保管場所
家族と一緒に利用できる施設
雨天でもイベントができる施設
高齢者が体操や運動ができる施設
学校体育に使える施設・小会議室
女性客が来やすい環境整備が必要

自由記入欄には、下記のような意見もありました。

アンケート実施の場合もう少し日数がほしい
高い塀で囲まれており地域との融合を避けた施設のように感じる
フットサル・バスケットリング・テニスコート・キックボールパーク
清掃員の制服をもっとユニークなものにしたら(ディズニーランドのように)
親子招待イベントの他に大人を対象としたものも行ったらどうか。
古い店舗を全廃し、レストラン街・スーパー(生鮮・薬のディスカウント・日曜大工用品)
映画館等をつくり365日の営業をめざす。
博打場に福祉等の施設を持ってくるのはおかしい、競輪場ということで関係機関や
関係団体と協議して行うのがよいと思う。
青空市場やフットサルができるスペース
地下に大きなプール・地域で利用できる大きな体育施設
ギャンブル施設はいらない、公園にすべき

市ホームページによるアンケート報告書

立川競輪場に関するアンケート結果

個人情報の記入は控えて下さい。
アンケートの結果は集計後ホームページで公開致します。

尚、これはアンケートですので質問を頂いても回答することはできません。

問1. あなたの性別を教えてください						
1. 男性 13		2. 女性 4				
問2. あなたの年齢層を教えてください						
1. 20歳未満 1	2. 20代 1	3. 30代 5	4. 40代 3	5. 50代 3	6. 60代 2	7. 70代以上 2
問3. あなたのお住まいの地域を教えてください						
1. 立川市内 15		2. 都内(立川市以外) 2		3. 都外 0		
問4. 立川競輪場に来たことはありますか						
1. 来たことがある 14			2. 来たことがない 3			
問5. 問4で「1. 来たことがある」とお答えした方にお聞きます 投票券は購入しましたか						
1. 購入した 11			2. 購入しなかった 6			
問6. 問4で「1. 来たことがある」とお答えした方にお聞きます 立川競輪場のイメージはいかがでしたか。						
1. 良い 6		2. 悪い 7		3. どちらとも言えない 4		
問7. 立川競輪場の市民開放について * 現在、立川競輪場ではファンサービス館・ファミリールーム・場内広場・曙町運動広場等の施設を市民開放しています(尚、走路につきましては一般貸出しは行っていません)						
1. 知っている 8		2. 知らない 9				
問8. 問7で「1. 知っている」とお答えした方にお聞きます 問7に記載した施設について						
1. 利用したことがある 11			2. 利用したことがない 6			
問9. 立川競輪場にあったらよいと思う施設を教えてください(複数回答可)						
1. イベントスペース 9 2. 児童遊園・公園 11 3. サイクリング休憩所 1 4. 外から入れるレストラン・コンビニ 7 5. トレーニングジムなどスポーツ施設 6 6. その他(5						

問9-6. その他5件の内容

- 1 テニスコート
- 2 特に必要ない。そんなことをしても売り上げにつながらない。
- 3 特になし
- 4 多目的広場
- 5 選手の写真撮影許可地域があったら良いと思う。

立川競輪場に関するアンケート結果

その他、ご意見があればについての書き込み意見

1

現状、客層を見ると若い客層がほとんどいない。以前のような活気あふれる状況を作り出す事は非常に難しいと思われる。衰退をたどっている立川競輪場を立川市に置く必要があるかを議論する時期にきているとおもいます。たとえ、女子競輪が復活しても「ガラ」の悪い客層に若い客層が復活するとは思えない。

2

第1回芸能人競輪選手権大会を開催すること。テレビ放送を前提とする。
開催日を競馬と同じように土・日開催すること。
競輪場をドームにすること。
ドライブスルーで車券が買えるようにすること。

3

バス運行のため警備員が歩道で邪魔になるときが多々あります。

4

競輪場は是非廃止してほしい、そして立川市を紳士淑女の街にしていきたい。競輪をする方の多くは、いわゆる「ガラが悪い」人が多いのでよろしく願いたい。競輪を開催することにより立川市イメージダウンは計り知れないと思われます。金銭的に多少利益があっても全体としては損をする方が多いと思います。

5

私は近くに住んでいる者ですが、来場者のマナーは昔から悪く近隣住民は非常に多くの被害を受けています。

6

競輪事業を止めてほしい。全体を児童遊園・公園等にしてほしい。

7

京王閣、西武に比し、施設の統一性がなくゴチャゴチャしており清潔感がない。また、お客の「ガラ」が良くないようだが、紳士的に振舞えるよう明るく清潔感溢れた施設設備にし要員もきちんと配置し、声かけ・指導・誘導等を行うようにしたら良い。若い人達、ファミリーが入れるような清潔感。雰囲気・施設が必要だろう。

【資料 7】立川競輪場施設改修基本計画（案）のパブリックコメント

パブリックコメントに対する市民意見と市の考え方について

1 実施期間 平成 23 年 12 月 26 日（月曜日）～ 平成 24 年 1 月 16 日（月曜日）

2 周知方法

（1）広報たちかわ（12 月 25 日号）

（2）立川市ホームページ

（3）下記の施設に「計画（案）」を配置

立川競輪場、市役所市政情報コーナー、窓口サービスセンター、各連絡所（4 か所）

各地域学習館（6 か所） 各図書館（9 か所）

3 提出意見

（1）意見提出者

1 人

（2）提出方法

郵送

（3）主な意見と件数

番号	意見の分類	件数
1	競輪場廃止に関する意見	1
2	清掃・無料バス運行費用に関する意見	1
合計		2

4 意見の概要と市の考え方

（1）競輪場廃止に関する意見（1 件）

番号	意見の概要	市の考え方
1	競輪場をなくして、市民が憩える入場無料の公園を設置してほしい。	競輪事業は、地域社会及び市財政へ貢献することを目的としております。開設以来、本市の基盤整備のため多大な貢献をしてきました。今回、立川競輪場施設改修基本計画を策定するにあたり、市民に愛される競輪場・安定的な事業収益を確保できる競輪場・防災機能を強化した競輪場をコンセプトとしました。 市民に愛される競輪場として、公営競技だけの施設ではなく、様々な利用

		価値を生み出す施設に転換し、競輪場の存在価値を高めて行きたいと考えております。また、競輪事業を行うためには、安定的な事業収益を確保して一般会計への繰出しを行うことにより、市財政に貢献する必要があります。そのために、老朽化した施設と過大な施設を改修し、お客様に快適な環境を提供するとともに、現在の入場者数に合わせたコンパクトな施設とすることで運営経費の削減を図り、今後も安定的に一般会計への繰出しを行ってまいります。 いただいたご意見の趣旨については今後の参考とさせていただきますので競輪事業へのご理解を下さいますようお願いいたします。
--	--	---

(2) 清掃・無料バス運行費用に関する意見 (1 件)

番号	意見の概要	市の考え方
2	無料バスが運行されたり、清掃のために税金が使われていることに納得がいかない。	競輪開催中は、立川駅北口及び玉川上水駅より無料送迎バスを運行しております。また、競輪場周辺につきまして清掃作業をシルバー人材センターに委託して実施しております。この業務の費用は立川市の税金ではなく、競輪事業収入から支払っております。

立川競輪場施設改修基本計画

2012年(平成24年)2月

立川市

(お問合せ先)

立川市公営競技事業部 事業課

電話:042-524-1121

FAX:042-527-1929

E-mail : jigyoun@city.tachikawa.lg.jp